



1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

会長：三荒弘道 副会長：高橋賢二 幹事：関口幸恵 クラブ会報・IT 委員会委員長：元吉裕員

例会日 毎週木曜日 12:15~13:30
会場 グランドホテル神奈中 2F
事務局 平塚市松風町 2-10 平塚商工会議所内
連絡先 0463-23-5955 (事務局)

2025 年 1 月 23 日 第 3503 回 週報第 3503 号

本日	1 月 23 日	会員数 64 名	対象者 63 名	出席者 45(44) 名	出席率 70.31 %			
前々回	1 月 9 日	会員数 64 名	対象者 63 名	出席者 47(46) 名	出席率 73.44 %	MUP 1 名	計 48 名	修正率 75.00 %

本日の卓話者ご紹介

映画「笑む」
監督 早瀬憲太郎 様



卓話

～失敗は畏れて挑戦は迷わず～

聴導犬ってご存じですか？

『身体障がい者補助犬』には 3 種類あります

盲導犬⇒

視覚障がいの者のサポート (白か黄色のハーネス装着) 796 頭

介助犬⇒

手足の障がいの者のサポート (介助犬記載マナーコート着用) 60 頭

聴導犬⇒

聴覚障がいの者のサポート (聴導犬記載マナーコート着用) 50 頭

我が家にも犬がいますが、聴導犬ではありません。でも、お客様が来ると玄関まで連れて行って知らせてくれたり、色々協力してくれています。

耳が聴こえない生活とは？目をしっかり使っています！

街を歩いているとき…周囲の人の行動・様子を良く見て様々な事を判断します。

- ・救急車が近づいてきたら⇒周りの人は音のする方を見ます
- ・消防車が近づいて来たら⇒周りの人はどこで火事？とキョロキョロ見回します

デフリンピックは「音のない競技の世界一を決める大会」

視覚をスポーツの中で生かす能力がずば抜けています。もし音のないルールできこえる選手と同じ大会に出場したら僕たちきこえない選手が大活躍すると思います。きこえる選手はどの競技でも音で判別している部分があると思います。すべては「音のある競技」なのです。自転車競技も例えばギアチェンジをする音をきいて相手選手のアタックが始まると分かる。僕たちデフアスリートはすべて視認で判断する。デフリンピックでは、もうみんなの視線が身体中に刺さるくらいすごい。

どちらが良い悪いではなく、音のある競技のやり方、音のない競技のやり方、それぞれ違いあるということです。音のない世界での競技があること、それがデフリンピックの魅力であり、デフリンピックを通してデフアスリートの凄さを知ってもらいたいと思います。オリンピックの選手と同様に情熱、時間、お金と自分のすべてを懸けて取り組んでいます。

ろう者がろう者に向けて競技の実況・解説をすること。

デフリンピックに限らず、デフスポーツの中でろう者の実況・解説がつくのが当たり前な状況にしたいです。大会をただのお祭りで終わらせてはいけません。デフリンピックが終わってからの未来が私にとっての本当の挑戦だと思っています。デフリンピックが「自分に何をしてくれるか」ではなく、デフリンピックに「自分は何ができるか」を皆さんに考えてもらえたらと思います。一人ひとりがやろうと思えば、様々な形でデフリンピックに関わることができる。何ができるか考えるところからスタートすれば、デフリンピックが終わったあとも、その思いはつながっていくのかなと思います。



「失敗は畏れて、挑戦は迷わず」

これは母からの教えなのですが、失敗は畏れ「ず」ではなくて失敗をきちんと怖がるんです。怖がるからこそそれに向き合って何が必要かを考える。その結果、失敗したとしても自分の中で納得できる。その積み重ねが挑戦を続ける大きな力になる。私は性格的にケセラセラ（なるようになる）で、良くも悪くも失敗を畏れずにやってきたのですが、今はきちんと失敗を畏れるようになった。そういう部分が、競技を始めてから僕自身が変わったところかもしれません。

学習塾早瀬道場

聞こえる子どもの塾はあちらこちらにあります。ろう児のための塾はほとんどありませんでした。外国人が母国語で日本語を学ぶのと同じように、ろう者にとって手話で日本語を学ぶ場が必要です。

当初はいろいろな教科を教えていましたが、今は日本語や国語教科にしぼって教えています。ろう児向けの映像教材や絵本の読みきかせのDVD制作にも取り組んでいます。最近ではメールでのやりとりが増えて、日本語でコミュニケーションを取る機会も非常に多くなりました。ろう者にとって日本語の読み書き能力が最も問われる時代になったと思います。そうすると日本語のニュアンスや語彙、敬語の使い方が難しく、誤解や行き違いなどが起きて困っているろう者がたくさんいるわけです。日本語のもつあいまいさ、情緒、など素晴らしい魅力的な言葉を、ろう児にぜひ知ってほしいという気持ちがまず一番にあります。聞こえる人の場合、日本語は生まれた時から自然に耳に入ります。それから国語という教科につながっていくわけですが、ろう児の場合、聴覚は使えないわけで聞こえる子と比べて日本語の習得に2倍も3倍も時間がかかります。耳が聞こえないからこそ一生懸命日本語を教えようとする、ろう児にとって日本語は勉強しなければならないもの、苦痛なものという意識がついてしまう。ろう児にとってまずは手話という言葉があります。手話で十分にコミュニケーションをとりながら日本語の魅力をつたえていくことが、ろう児にとって一番スムーズに日本語に触れていけると考えています。日本語は面白い、日本語の表現は楽しいと思えるような塾でありたいと思っています。日本語が面白い楽しい、書くことが楽しいと目を輝かせてもらったときが一番うれしいです。

バリアフリーの先にあるもの

現状のバリアフリーは健常者が考えて作っている。それは決して、障がい者にとって使いやすいものではない事も多くあります。聞こえる世界と聞こえない世界があることを認めた上で、違いを知る。それで初めて先に進める。聴者には音があるのは当たり前ですが、当たり前のことが当たり前ではない世界がある。僕にとっては音のない世界が当たり前ですが、そうでない世界もある。理解しなければと思うより、まず知ろう、気づこうという気持ち、そして何よりも想像力が大切です。出会いがあって初めて、互いに新たな世界、違う文化があることに気づく。それは、自分を見つめ、価値観を見直すことにもなります。

いまの社会で僕は『障がい者』という視線を向けられています。障がい者を『かわいそう』『理解してあげる』

という見方ではなく、異なる文化をもつ一人の人間として、個として向き合う。互いに学び合い、どちらも助ける側にも助けられる側にもなる。そうなれば、障がいがあるとかないとかはどうでもいいことになります。『お互い様』になることが、共生社会の実現に近づく道だと思えます。



卓話者ご紹介

早瀬 憲太郎 (はやせ けんたろう) 様

1973 年生まれ

日本の教育者、映像作家。ろう者であり、ろう者向けの学習塾の経営を行うほか、ろう者向けあるいはろう者をテーマとした映像・映画の制作を行っている。妻は聴覚障害者で初の薬剤師となった早瀬久美。妻と共に自転車競技のデフアスリートでもあり、デフリンピックの日本代表経験がある。奈良県出身。大学在学中には、全日本ろう学生懇談会の中央委員長を務めた。

1993 年に、ろう児対象の学習塾「早瀬道場」を設立して塾長に就任。東京都立大塚ろう学校の講師や、「ろうによるろう児のためのろう教育」を掲げて 1997 年に設立された非営利団体「スマイルフリースクール」の理事長も務めている。

また、大塚ろう学校の早期教育相談指導員として映像教材を制作したことをきっかけに、ろう児のための映像教材・映画、ろう者をテーマとした映画等の制作に携わり、2004 年に大塚ろう学校の生徒とともに制作した『あきらめないで』で聴覚障害者映像フェスティバル in 嵯峨野の聴覚障害者映像大賞を受賞。2006 年には、制作・脚本を務めた『迂路 (うろ)』がトロントろう映画祭最優秀賞を受賞した。

2008 年に、映画『ゆずり葉 - 君もまた次のきみへ -』で大きな反響を呼んだ。2020 年映画『咲む』は 4 年の歳月を掛け、脚本・翻訳・監督に加え音楽も手掛けた 2013 年には自転車競技選手として、ソフィアデフリンピック（英語版）の日本代表入りし、自転車競技選手団の監督も務めた。2017 年のサムスンデフリンピックと、2022 年のプ

平塚 RC ・ 大磯 RC ・ 二宮 RC 合同例会

昨年に続き合同例会を神奈中グランドホテルにて開催をしました。

今回は、佐々木ガバナー・三富 AG を含め第 8 グループの会長及び幹事の皆様にもご参加いただきまして大変にぎやかに開催することが出来ました。合同例会の卓話者として、IM で映像を流す映画『咲む』の監督であります、早瀬憲太郎様に通訳を交えた手話でのご講演をいただきました。

早瀬監督と通訳の小菅様との息の合った掛け合いで、みんなで手話を交えながらの拍手やデフリンピックのお話やろう者のための塾のお話、時代によって使い方が変わる日本語の表現など、非常に楽しい内容でした。

交流会については、交流会の名の通り各テーブルでの交流やテーブルを超えての交流を各自行って有意義な時間となりました。各クラブからの活動紹介、三富 AG をはじめとした第 8 グループの会長からのご紹介もいただきまして第 8 グループが一つで結束し、IM に向けて大変良い交流になりました。

新入会員の紹介もあり、参加者全員にとってロータリーの親睦の輪を深めることが出来ました。

プログラム委員会 委員長 原田 篤志

大磯ロータリークラブ

こんばんは、今年度大磯クラブの会長を務めております。田中と申します。

今年も平塚、二宮、大磯クラブ合同例会を開催して頂き平塚クラブの三荒会長・関口幹事、また平塚クラブの方々ありがとうございます。前回、私自身すごく楽しく色々な方と交流でき有意義な時間を過ごせました。私自身も大変、勉強になることも多くありました。その後、たくさんの方を教えていただいております。

このような場合は私も大磯クラブ会員にとっても皆様と知り合え、親睦を図る良いチャンスだと思いますので、ぜひこの機会に多くの方々との親睦を深めて、次に会った時お互いに挨拶ができるような関係になれば良いと思います。

それでは大磯クラブ会長報告に移ります。報告は 2 点あります。21 日の会長幹事会でハラスメントについての話がありました。今後各個人としてもクラブとして特に注意すべき事柄だと思います。ハラスメントについての認識は各自個人差があると思いますが、資料などを使いながらハラスメントについて理解を深めていくよう今後クラブ内で取り組んでいきますのでご協力をお願いします。

2 点目は大磯サミットにゲストとして来日されましたディクソンさんよりお礼と要望のお手紙が来ております。この要望についてはしっかりと協議を重ねて方向性を出していきたいと思っておりますので会員のご協力をお願いいたします。以上 大磯クラブ会長報告です。



大磯 RC クラブ 紹介

大磯ロータリークラブについて簡単に紹介させていただきます。当クラブは、山と海に囲まれ自然豊かで歴史や文化に富んだ大磯町にて、ロータリークラブの人道的奉仕の理念のもと大磯らしい風格あるクラブを目指し 1967 年 4 月 13 日に発足し今年で 58 年目を迎えます。昨年ご逝去された河本パストガバナーを筆頭に地域貢献や数々の国際ロータリー活動に会員一同尽力し、現在は男性 12 名、女性 3 名の計 15 名の少数精鋭で活動しております。

大磯プリンスホテルを例会場とし、月に 2 回行っています。湘南の海を一望する抜群のロケーションで行われる例会は私共会員にとっても楽しみであり、よく晴れた日の景色は心が洗われる思いです。皆さまもぜひ一度いらしてみてください。

今後も河本パストガバナーの想いを引き継ぎ、大磯らしさを大切にしながら会員一丸となり地域へ、社会へ、世界へ奉仕の精神で貢献していきたいと考えております。引き続き、平塚、二宮クラブの皆様と同じ 2780 地区の同志として共に歩んで参りたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

以上で当クラブの紹介とさせていただきます。ありがとうございました。

二宮ロータリークラブ

皆様、こんばんは。佐々木ガバナー、本日はようこそお越しくださいました。後ほど、クラブ紹介にて本年度の活動について話す時間がありますので会長報告は先立って、1 月 11 日から 14 日にかけてカンボジアに視察に行ってきたのでそのことを話したいと思います。

カンボジアは首都がプノンペン、第 2 の州がシェムリアップというところでそこにアンコール・ワットがあります。また、悪名高きポルポトが 1970 年代に悪政を引いたことでも、ご存じの方も多いかと思えます。そんなカンボジアですが、戦後賠償を日本に請求していない数少ない国の一つであり紙幣に日の丸と日本が造ったきずな橋などが載っているなど大変な親日国になります。

今回、前二宮クラブの事務局の息子さんである古沢敦さんが18年前からカンボジア第3の州であるパタンバンでカンボジア コットン クラブという女性の社会進出訓練場を設立・運営している方の御縁があり、国際と名つくロータリーで 海外でなにかいいことができないかと視察を行ってまいりました古澤さんはまだ無名だった頃の池上彰氏が文章教室の講師をされている頃からのお弟子さんで、NHK 入社後も御縁が続き、退社後カンボジアで活動をするに至り池上さんより、古澤さんの活動を行うときには池上さんの名前を出すことや肖像はフリーと言われていた方でもあります。

今回、パタンバンに視察に行った中で、特に印象に残ったのが小学校を見学に行ったことです。カンボジアは平均年齢が24歳強と若いです。これはポルポト政権時に年齢が高い方が虐殺されたことや政治家、医者、教師、料理人その他知識人なども虐殺されました医者が虐殺されたことで、医療が衰退し、幼児での死亡が多かったことも平均年齢が若い理由に上がりますまた、教師のなり手も現在少なく、教師になったとしても首都に行くなど地方での教育の補佐的に寺院が存在しているそうです。

しかし、そこで学んでいる子どもたちは非常に澁刺としておりこの子達に何かできることはないかと考えさせられる

視察でした今週行われる地区補助金説明会を経てぜひとも来期事業で地区補助金を使いながら事業を行いたいと思いました。

二宮RCクラブ紹介

二宮クラブは4年前に会員数が9名まで減少し、クラブ解散や大磯クラブさんへ身を寄せるなど真剣に検討していました。

その中で、まだやれることをやりきっていないという当時の大岩会長の一言で

亡くなられた方や企業での人の入れ替え等はあったもののこの3年間で4名の入会を経て現在11名になりました。

本年は地区補助金を受けて中井町の木の花保育園で幼児運動教室を4回にわたって開催中です。

また、御縁会と称して、毎月会員以外の人を呼んでの懇親会を開催しています。

二宮は人数が少ないので、予算が潤沢でなく地区補助金を取れるかどうかでその年度の事業計画が大幅に変わってきますので来年度に向けても、地区補助金を取りに行きたいと思います。小さいクラブですが、今後ともよろしくお願いいたします。



二宮ロータリークラブ
会長 加藤哲也様



幹事報告

☆本日は初めての平塚・大磯・二宮 3 クラブの合同例会となります。また、公式訪問以来となります佐々木ガバナーはじめ、三富 AG、平塚北クラブ会長・平塚西クラブ会長、幹事、平塚湘南クラブ会長もお越し頂いております。

貴重な機会ですので、是非、皆さん、積極的にロータリー活動の情報交換などをして頂きながら親睦を深めて、来たる 2 月 1 日 IM ではお会いした時には、『やあ!と云ったり』『遠い時には手を振り合って』まさにロータリーソングを実行出来るように本日の例会を楽しんで頂きたいと思ます。



◎地区立法案検討委員会について

1 月 24 日 (金) 15:30 より第 1 相澤ビルにて地区立法案検討委員会セミナーが開催されます。平塚クラブより三荒会長と清水裕会員が、大磯クラブより岡みゆき会員が出席されます。

◎地区補助金説明会について

1 月 25 日 (土) 14:00 より第 1 相澤ビルにて第 2 回地区補助金説明会が開催されます。平塚クラブから高橋会長エレクト、嶋田次年度幹事が、そして大磯クラブからは加藤会長が出席されます。

◎IM 開催について

いよいよ 2 月 1 日は国際ロータリー第 2780 地区第 8 グループの IM となります。

・平塚クラブは来週 1 月 30 日 (木) の例会は 2 月 1 日 (土) の I・M への移動例会となります。

2 月 1 日はサン・ライフガーデンにホストクラブである平塚 RC の会員の皆様は 9:30 に集合となります。平塚 RC がホストクラブの IM を成功させるべく、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

・大磯・二宮クラブの皆さんは、IM の受付開始は 12:30、点鐘は 13:00 です。平塚クラブメンバーがニコリ笑顔でお出迎えさせていただきます。多くの参加をお願い致します。

◎IM 後の各クラブの例会についてご案内

・平塚クラブは、2 月 6 日は、ホテルでの通常例会となります。例会の後に理事役員会がございますので、理事役員の皆様は、お時間の調整・確保をお願い致します。資料の提出は 2 月 3 日 (月) までに事務局と幹事にお願い致します。

・大磯クラブの皆さんは、2 月 20 日 (木) 大磯プリンスホテル「高砂:たかさご」にて、通常例会となります。
・二宮クラブの皆さんは、2 月 7 日 (金) サッカー教室開催です。移動例会となりますので、場所は『このはな幼稚園』お時間は 10 時となります。お間違えの無いようお願い致します。



メイクアップ (MUP) 1名

高橋建二会員

本日のスマイル 15名

ゲスト 4名

映画監督	早瀬憲太郎様
平塚ろう学校	校長 杉崎郁夫様
(株)和田機材	代表取締役 和田克己様
手話通訳	小菅秀様

ビジター 6名

第2780地区ガバナー	佐々木辰郎様
第8グループガバナー補佐	三富正規様
平塚湘南ロータリークラブ	会長 関口直美様
平塚北ロータリークラブ	会長 平山英代様
平塚西ロータリークラブ	会長 近藤直樹様
〃	幹事 石井翼様

卓話・行事予定

1月30日(木) 2/1 IM へ移動例会
2月 6日(木) 平塚市役所担当部長
2月13日(木) 移動例会 (2/11-12)
企業訪問・家族例会

第8グループ例会変更

現在ございません

